

2018年
(平成30年度)

5月

ほそだだより

〒653-0835
神戸市長田区細田町5丁目2-4
社会福祉法人 愛児会
幼保連携型認定こども園 ほそだ
TEL(078)641-6666

保育理念

～子どもの今と未来をつなぐ～

保育方針

～受容と尊重～ ～自己の発揮～

～思いやり～

～支え合い、感謝する～

新たな年度が始まり、早いもので1か月が過ぎました。春から初夏にかけて、子どもたちが園庭で遊ぶには最適な季節です。春ならではの草花が芽を出したり花を咲かせたりするので、園庭で遊ぶ声も、いつも以上に元気に感じます。

また、新入園児の保護者さんは、いわゆる慣らし保育の期間が終わり、仕事に復帰された方が多いと思います。環境の変化や気温差が原因で0～1歳児クラスでは熱を出して早退することや欠席する子どももおり、復帰されて早々にも関わらず、お迎えを要請する電話をかけるのは、いくら子どもの為といえども心苦しいところがあるのも事実ですが、なんとか都合をつけていただき、お礼を申し上げます。そして園としては、子どもたちが健康を保てるように、引き続き身の回りの清掃や消毒を心掛けていきたいと思っております。

さて、5月には今年度初めての大きな園行事である『親子のつどい』を行います。0～1歳児クラスは、園外に出かけていくよりも、慣れ親しんでいる環境の中で安心して遊んでほしいので、天候に関わらず園内で行います。一方で2～5歳児クラスは、園から徒歩10分ほどの位置にある西代蓮池公園まで出かけていき、広い空間でクラス毎に企画する遊びを楽しみます。雨が降れば園内に場所を移して行うため、当日は五月晴れとなることと、子どもたち全員が病気等で休むことなく登園することを願っています。

最後に水槽の中のエビについて簡単に紹介したいと思います。まず、長いひげがトレードマークの『ゴシキエビ』についてです。今まで4回ほど脱皮をしていて、その度に一回りずつ大きくなっています。いわゆる伊勢海老の3倍近いサイズまでは成長するようですので、無事に育ててほしいと思っておりますが、脱皮の際にとっても美味しい匂いが体から出るようで、無防備になる脱皮時が危険です。乾燥したエビやアジが大好物です。ちなみにお店で食べると数万円の値段で出てくることもあるエビです。

もう一匹、『フリソデエビ』という小さいエビが3匹います。水槽に向かって左側の岩場にオスとメスのペアになって生活しており、そのすぐ近くにもう1匹がいます。少し毒々しい色をしていますが、魚から見て美味しそうな色をして身を守っているそうです。食べる物は、コブヒトデだけです。水槽内にいるコブヒトデは、実はこのフリソデエビの餌になる役割もあり入っています。かわいそうですが…。

このように生き物の飼育を通して、生命の大切さや尊さを学んでほしいと思っております。

園長 井塚 啓文
職員一同

＜5月の予定＞

日	曜日	行事名	対象クラス	内容
1	火	発育測定(～9日)	全園児	身長、体重、胸囲を測ります。*3～5歳児は出席ノート、0～2歳児は発育記録カードにてお知らせします。
2	水			
3	(祝・木)	憲法記念日		
4	(祝・金)	みどりの日		
5	(祝・土)	こどもの日		
6	日			
7	月	かきかた(午後)	4、5歳児	かきかた講師の宮崎先生に、線や文字の書き方を学びます。
8	火	クッキング	5歳児	自分でこねた白玉と果物を混ぜて、フルーツポンチを作ります。
9	水	キッズサッカークリニック	5歳児	INAC神戸の指導コーチと一緒にサッカーを楽しみます。
10	木			
11	金	避難訓練	全園児	不審者を想定した避難訓練を行います。
12	土			
13	日			
14	月	幼児体育遊び	3～5歳児	体育講師の馬場先生と運動遊びを楽しみます。
15	火			
16	水	親子のつどい	全園児	詳細については4月27日に配布した発信文書をご確認下さい。
17	木	英語であそぼう	3～5歳児	英語講師の崔先生、サイメン先生と英語の歌やことばあそびを楽しみます。
18	金	食育体験	4歳児	4月に植えた夏野菜に支柱を立てます。
			5歳児	夏野菜(トマト、なす、きゅうり)の苗植え後、稲の苗植えの準備をします。
19	土			
20	日			
21	月			
22	火	絵本の読み聞かせ	4、5歳児	新長田図書館の方に絵本や紙芝居を読んで頂きお話しの世界を広げます。
23	水			
24	木	誕生会	全園児	5月生まれの友達をみんなで祝います。
25	金	食育体験	5歳児	3階にある田んぼに稲の苗を植えます。
26	土			
27	日			
28	月	避難訓練	全園児	火災を想定した避難訓練を行います。
29	火			
30	水	かきかた(午前)	3～5歳児	かきかた講師の宮崎先生に、鉛筆の持ち方や線の書き方を学びます。
31	木	英語であそぼう	3～5歳児	英語講師の崔先生、サイメン先生と英語の歌やことばあそびを楽しみます。
		内科健診(14:00～)	全園児	学校医である朝日診療所 姜先生の健診を受けます。

○親子ふれあい遊び(地域向け子育て支援)

5月23日(水) 10:00～11:30

当園3階ホールで、2歳児クラス子ども達が地域の親子と一緒にふれあい遊びを楽しみます。



クラスだより

ひよこ組

初めてお家の人と離れて過ごし、さみしさや不安を泣いて伝えていた子ども達も、毎日保育者にぎゅと抱っこしてもらったり声を掛けてもらったりする中で、少しずつ園生活にも慣れてきた様子です。「あーあー」と声を出し一緒に話をしようとする姿や歌をうたうと体を揺らす姿、名前を呼びながら話しかけるとにっこり笑う姿等、毎日一緒に過ごす保育者に安心感をもち、家庭と同じように過ごす時間が増えてきました。

これからも子ども達が安心して毎日を機嫌良く過ごせるように、スキンシップを大切にして過ごしていきます。

後藤 荒牧 岡部 大須賀(育休)

りす組

新しい環境になり1か月が経ちました。初めはお家の人と離れるのが寂しくて泣いていた子ども達も室内で興味のある遊びや玩具に接したり、ウッドデッキや水槽付近を散歩したり、安心できる場所や遊びを見つけて笑顔で過ごす姿が見られるようになってきました。

また、園庭に出ると、元気に泳いでいるこいのぼりを見て、「あ！あ！」と指差しをし、見つけたものを嬉しそうに教えてくれます。

感じた事を体で表現しながら楽しむ子ども達の“うれしい”“おもしろい”“やってみたい”の思いをしっかりと受け入れ、一緒に楽しく過ごしていきたいと思います。田中 掛 池田 谷村 滝原

うさぎ組

新しい保育室や先生に慣れてきて、毎日元気に「おはよう」と挨拶をする子ども達。戸外遊びでは、体操の音楽が流れると一斉に集まり「ブンバボン」と大きく手をあげる姿や、思い切り腕を回しながら“ぞうさんあくび”の体操を友達と一緒に楽しんでいる姿が見られます。

また、花壇の中を覗いてだんごむしを見つける子どもや、「お花綺麗だね」と言いながら花に触れる子ども等、色々な“み～つけた！”を楽しんでいます。

これからも、小さな動植物を見逃さない子どもの視点や一人一人の感性を大切に、そこから広がる遊びや会話を楽しんでいます。

伴 後藤 船曳 山口

ぱんだ・ばんび組

幼児クラスでの生活にもずいぶん慣れてきて、「今日は何するの？」「お外行く？」と毎日の活動を楽しみにしています。その中の一つとして、毎日の日課である出席ノートのシール貼り。「どれにする？」と友達同士で話しながらシールを選び、「今日は〇日！」と言い、嬉しそうに貼ります。

また、「コップ洗ったよ！」「スリッパ並べたよ！」と色々な事に意欲的に取り組む姿も見られ、毎日張り切っています。

自分で頑張っしょうとする姿や思いを大切に、手を添えたり時には見守ったりしながら生活の一つ一つを丁寧に確認していきたいです。

田邊 渡邊

きりん組

きりん組がスタートして早くも一か月が経ちました。身の回りのことをはりきって自分でやろうとする姿や小さいクラスの友達に対して「玩具使ってもいいよ」「こっちだよ」と優しく声を掛ける姿が多く見られ、一つお兄さんお姉さんになった喜びを感じながら過ごしています。

そして、4月には新しいグループの名前をみんなで考えました。“おやつの名前にしよう！”ということになり、「～がいい！」「～がおいしそうだよ！」とアイデアを出し合い、無事に6グループの名前が決まりました。

これからも遊びや活動を通してクラスみんなで話をする機会を設け、思いを出し合いながら友達と一緒に活動する楽しさが感じられるように日々関わっていきたいと思います。 **石黒**

ぞう組

新しいことへの挑戦にわくわくと心を躍らせている子ども達。楽しみにしていたクッキングでは友達と協力して自分達のオリジナルのふりかけを作り、喜びがいっぱいあふれたいい笑顔が見られました。縄跳びにも挑戦しており、「先生見て！早く跳べた！」「もうすぐ10回跳べそう！」と嬉しそうに伝えてくれる姿からやる気がみなぎっており、嬉しく思います。

また、帰りのつどいの際にお当番の子ども達が、友達のかっこよかったところや優しいなと感じたこと等を発表しています。少しはにかみながら嬉しそうにして名前を呼ばれることを楽しみにしています。様々な事に挑戦し、実体験の中で感じた事や経験を積み重ね、自信や意欲へつないでいきたいです。 **梁瀬**

調理室

新年度がスタートし、少しずつ新しい環境にも慣れてきた様子で、おかわりをする姿や楽しそうに食べている姿が見られます。初めてランチホールでご飯を食べるぱんだ・ばんび組の子ども達は、「見てみて！」と自分でスプーンやお箸を使って食べる事に喜びを感じながら楽しそうに食事をする姿が見られました。

また、乳児クラスの子も達も少しずつ園での食事環境に慣れてきて、個々のペースで自分で食べようとしたり食べる量が増えたり、“食”に満足している事が感じられ嬉しく思っています。これからも子ども達が楽しく食事の時間を過ごし、喜んでおいしく食べられるような献立を作っていきます。 **酒井 倉田 國分**

